

事業所名 step up（放課後等デイサービス）

公表日 2024年11月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		教室の清掃・消毒を行い、子ども達が床上で自由に伸び伸びと過ごせる環境設定に努めています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育士・教員・指導員と様々な特性を持って子ども達に対応できる配置をとっています。	職員の自己紹介シートの作成など行い、保護者様にも周知していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動で使用する道具などは視覚的な提示を用いて分かりやすくしています。また、個別に伝えることが必要な子どもには個別に対応しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の室内清掃、物品使用後のアルコール消毒、角や先端など危険個所のカバー、整理整頓を徹底しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		教室内にパーテーションがあり、必要に応じて環境を区切ることが出来るようにしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月一回の職員会議等を活用し、実施するよう努めています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表でのご意見・ご指摘いただいた点について改善に取り組んでいます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なミーティングの中で、日々の情報共有を行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		数年前に外部評価をいただきましたが、現在第三者による外部評価は行っていません。保護者様からいただいたご意見や自己評価の結果をもとに業務改善に努めています。	必要に応じて、外部評価を依頼し実施を検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月一回の内部研修会を実施しています。外部の研修等も積極的に受講していきます。	
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員全体で会議を行い、支援プログラムの検討、作成を行っています。	保護者様への周知、公表の方法に課題があると感じています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期面談、日々保護者様から子どもの発達相談やニーズを聞き取りした上で、個々の課題を明確にしています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体で会議を行い支援内容を確認し様々な観点から意見を出し合っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援内容は職員全体の共通認識として、一貫性をもち支援にあたっています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者様へ検査機関で行われた発達検査の結果書類等の提出をお願いしています。また、保育園や幼稚園の活動記録なども確認させていただき、支援に繋げています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、個々に必要な項目設定と具体的な支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムのベースは保育士が作成し、職員間で意見を出し合いながら立案を行うように努めています。	

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月、制作・音楽活動、季節に合わせた行事などの様々な活動を実施しています。また、繰り返し行なう活動も大事にし、子どもの反応の違いや同じ活動プログラムでも教材や活動の展開に変化をつけて提供することもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を含めた目標設定を行ない、子どもの年齢や成長・発達段階に応じて、一人ひとりに合わせた個別活動・集団活動の充実を図れるよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動開始前にミーティングを行い、子どもの最近の状況や支援方法の確認などの情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援日当日に職員間で振り返りを行なうことは難しいことが多いため、翌日以降に情報共有を行なうようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、支援に沿った記録をとり、支援の検証や改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年2回のモニタリングを実施し、必要に応じて放課後等デイサービス計画の見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		創作活動・自立支援など、総合的な支援を行えるように努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		小さな自己選択の積み重ねを行い「やってみよう」「できた」と感じられる支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議への参加依頼があれば、積極的に参加していきます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて医療機関、担当者と情報交換し連携して支援を行っていきます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様を介して連絡をとっていますが、必要に応じて書面または電話連絡で情報共有、連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて関係機関、担当者と情報交換し連携して支援を行っていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		数回、研修会に参加し他の研修や情報交換会の案内があるため、参加出来るような体制を整えていきます。	今後も地域との連携を大切にし、積極的に参加していきたいと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状、交流行事等に参加出来ていないため、子ども達や保護者様のニーズを確認して実施を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回利用後、システムの活動記録を通じて、保護者様への情報提供を行い、情報共有出来るよう努めています。また、必要に応じて子どもの成長・発達に応じ、介助方法などの検討を個別で行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		プログラムやトレーニングではありませんが、保護者様からの相談内容の解決方法を一緒に検討したり、子どもの成長に応じ、自宅で出来る取り組み等の提案を行なっています。	ペアレントトレーニングを専門的に学んだスタッフが配置していないため、支援は行っていません。必要に応じて今後検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前や更新時に個別で説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成前には個別面談を行い、子どもや保護者様の意向の確認を行っています。	



保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		子どもや家族の希望や要望を十分に汲み取ると共にアセスメントシートをもとに子ども状態に応じた放課後等デイサービス計画書を作成し、保護者様に対し支援内容の説明を行い、同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的な面談やモニタリング時に相談の時間を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			コロナ感染防止対策の一環として、保護者会などの開催は控えさせていただきました。令和6年度より時期や人数、内容など考慮し、保護者会を開催できるように努めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ誠実に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月一回「Stepupだより」を配布し、行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる記録などについては、鍵付きロッカーで管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもとの意思疎通が適切に図れるよう、個々の特性に応じた分かりやすい言葉での説明や視覚的なアプローチ、選択方式を取り入れながらコミュニケーションを取るよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		コロナ感染防止対策として地域との交流活動は行っていませんが、必要に応じて今後検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを基に職員会議にて対応方法等の確認や月一回訓練を実施しています。	保護者様への周知が不十分な部分があり、より安心して利用していただけるよう保護者への周知に努めていきたいと思ひます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		様々な状況を想定した訓練を定期的に行っています。	日によって出勤している職員、人数が異なってくる為臨機応変な対応が出来るように努めていきたいと思ひます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に保護者様への聞き取りや書面での提出をしていただき確認しています。服用の変更があった際にはその都度ご連絡をいただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様・医療機関と連携を図り安全配慮を行い、徹底したおやつや活動の提供を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき、安全管理に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・利用児童の発達段階に合わせた安全指導を行えるよう配慮しています。	・安全計画及び安全に関する取り組みの内容について、HP掲載の準備をすすめています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		そのような事例があれば記録・保管し共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回マニュアルを用いて職員全体で研修を行っています。	今後も職員一人ひとりが虐待に関して意識を高められるよう取り組んでいきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束が必要な場合に対応出来るように組織的に動く準備が出来ています。身体拘束前に子どもがクールダウン出来る環境を提供するなど職員間での取り決めとし周知しています。		